

プレスリリース

報道関係者各位

2026年8月21日

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）

第50回ピティナ・ピアノコンペティション「特級」 グランプリ決定のお知らせ

2026年8月21日（金）、東京・サントリーホールにて開催された「第50回ピティナ・ピアノコンペティション特級ファイナル」（主催：一般社団法人全日本ピアノ指導者協会）にて、東京大学文学部美学芸術学専修課程卒業、桐朋学園大学院大学1年在学中・24歳の西山響貴さん（東京都西東京市出身）がグランプリを受賞しました。西山さんは演奏順の最後に登場し、ショパン《ピアノ協奏曲 第2番 へ短調 Op.21》を披露。繊細な表現と美しい音色で1,800名近くの聴衆を魅了しました。



ピティナ・ピアノコンペティションは、毎年全国から延べ3万人が参加する国内最大級のピアノコンクール。その最上級部門「特級」には122名がエントリーし、書類選考・予備審査・一次予選を経て21名が二次予選へ進出。そこにシード3名を加えた計24名が、二次予選の舞台に立ちました。さらに三次予選（11名）、セミファイナル（6名）、ファイナル（4名）を勝ち抜いた西山さんが、頂点に輝きました。

当日は、太田弦氏指揮・日本フィルハーモニー交響楽団との共演によるファイナルステージが展開され、満席のサントリーホールで熱い演奏が繰り広げられました。

◆2026年度ピティナ・ピアノコンペティション特級 最終結果

◆最終結果ページ

グランプリ 西山 響貴（にしやま・ひびき／東京都出身／桐朋学園大学院大学1年）

銀賞 山崎 夢叶（やまざき・ゆうと／千葉県出身／東京藝術大学4年）

銅賞 沢田 蒼梧（さわだ・そうご／愛知県出身／名古屋大学医学部医学科卒業）

入選 三井 柚乃（みつい・ゆの／愛知県出身／昭和音楽大学附属ピアノアートアカデミー在籍）



聴衆賞 沢田 蒼梧

オンライン聴衆賞 沢田 蒼梧

◆2026年度 ピティナ・ピアノコンペティション特級ファイナル 開催概要

会場：サントリーホール 大ホール

日程：8/21（金）16:30開演

共演：太田弦（指揮）、日本フィルハーモニー交響楽団



◆グランプリ・西山 響貴 プロフィール



西山 響貴（にしやま・ひびき）

桐朋学園大学院大学1年／東京都西東京市出身

2026年第50回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ。併せて文部科学大臣賞受賞、スタインウェイ賞受賞。

東京都出身。東京都立武蔵高等学校を経て、東京大学文学部美学芸術学専修課程卒業。5歳よりピアノを始める。ピティナ・ピアノコンペティションB・C級金賞、E級ベスト賞、Jr. G級・G級全国大会入選ほか。全日本学生音楽コンクールピアノ部門小学校の部東京大会第1位、中学校の部東京大会第1位、全国大会第3位。ショパン国際ピアノコンクールin ASIA ソロアーティスト部門アジア大会金賞及びソリスト賞。2019年、モーツァルト音楽大学夏期講習会に参加し、ディーナ・ヨッフエ氏のクラスで学ぶ。室内楽やオーケストラ、合唱伴奏などさまざまな編成での演奏に積極的に取り組む。これまでにピアノを若尾佳代、椎野伸一、大野真嗣の各氏に師事。現在、桐朋学園大学院大学1年在学中。ピアノを田部京子、山本貴志、室内楽を銅銀久弥の各氏に師事。

◆特級とは

ピティナ・ピアノコンペティション「特級」は、年齢制限のない最上位クラスとして、1977年の創設から第50回を迎えるまで、数多くの音楽家を輩出してきました。近年では、桑原志織、進藤実優、鈴木愛美、亀井聖矢、角野隼斗、山崎亮汰、黒木雪音、古海行子らが特級を経て、国内外のコンクールや演奏会で活躍しています。国際コンクールを見据えた課題と複数のラウンドを通じて、演奏技術だけでなく、幅広いレパートリーへの対応力、プログラム構成力、共演者と音楽をつくる力など、ピアニストとしての総合力を問う舞台となっています。

全国で3万人以上が参加する予選からつながる地続きの学びの体系が特級を支え、歴代入賞者は国際舞台で輝かしい成果を挙げています。コロナ禍以降はライブ配信を通じて支持が広がり、2021年からはクラウドファンディングを通じた入賞者派遣も開始。国内外の公演にピアニストを派遣し、支援の一部は「オンライン聴衆賞」にも充てられました。

こうした取り組みは、子どもたちに「夢」と「憧れ」を届けるとともに、社会で活躍する力を育む教育的意義を持っています。

特級
2026

◆同日には特別イベントを実施

今年度ピティナは創立60周年を迎え、コンペティションは50回目の開催となりました。それとともない、特級ファイナル同日にはANAインターコンチネンタルホテル東京にて60周年記念式典を開催。そして、昨年度より再開したコンペティション祝賀会も引き続き開催し、多くの方にお楽しみいただきました。

また、サントリーホール小ホール（ブルーローズ）では「ピティナ60周年のあゆみ 特別展示」を、大ホールでの表彰式の前には「ピティナ・ピアノコンペティション第50回記念セレモニー」をあわせて開催。特に記念セレモニーは会場内だけでなく配信でも多くの方に見守っていただきました。



◆特級クラウドファンディング挑戦中！

国際的に活躍し、未来の音楽文化を担う音楽家を育てることは、一人の努力だけでは成り立ちません。真摯に聴いてくださる聴衆がいて、切磋琢磨する仲間がいて、その姿に憧れる子どもたちがいて、そしてさらなる高みへと導いてくれる指導者がいて、まだ見ぬ新しい世界との出会いと刺激があって…ようやく道が開けてくるのです。

2026年度は、目標金額を2段階で設定。支援が広がることで、ピアニストたちの演奏活動の場がさらに広がり、オンライン聴衆賞の実現や全国・海外での派遣が可能となります。届けた音楽が、聴衆や社会に還元され、また次の音楽を生み出す——そんな豊かな循環をつくることを目指しています。

《プレスリリースについてお問合せ》

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（ピティナ） 広報担当：黒木・堀内

TEL: 03-3944-1583 MAIL: public_relations@piano.or.jp